

ファッションで浜松の街へ旅立とう!

「オンナは、かつて自分が一番イケていた時代のメイクを引きずっている」

これは、ある人気コラムニストの名言。

実際に思い浮かべてみると・・・確かに思い当たる!キレイなのに、どこか古臭い印象だったり、バブル期の顔のまんまで2013年を闊歩している女性たち。

そう、多くの女性は、自分が一番イケていた(モテていた)時の定番メイクから、なかなか脱却できないものらしい。

だからこそ、常にイマドキの顔でいられる女性って意外と少ない。それは、時代にあったメイクができる=「イマ」がいつもいちばんイケている、つまり輝いているという事なのだから。しかも、流行もさりげなく取りこんで、「イマ」の自分を楽しむしなやかさとしたたかさを持っている・・・そんな女性がいたら、最高に素敵だと思う。

「じゃあどんなメイクをすればいいの?」「今の自分をどう変えたらいいかわからない。」という声をよく聞くけれど、難しく考えることはないと思う。

たとえば、気になる表紙のファッション誌を1冊手に取って、最後まで目を通して「イマ」を感じてみればいい。そして、目に留まった新しいメイク道具をひとつ、買ってみればいいのだ。例えば、かつて私は、新しい恋をするといつも新しい口紅を1本買ったものだった。今では、新しい季節や勝負の時、時にはモヤモヤからブレイクスルーしたい時に、これからやってくるドキドキ&ワクワクの未知の世界へのお供として、新しい色の口紅を1本買う事にしている。それだけで、カオだけじゃなく心まで新しくなれる・・・我ながらなんてシンプルな幸せ者!でも、そういう女性って割と多いんじゃないかと思う。

今がちょうど、いちばんオシャレが楽しくなる秋の始まり。まさに「イマ」のあなたへ変身するチャンス!この秋トレンドのクラシカルテイストのファッションに合わせるなら、透明感のある赤い口紅と、色味のしっかりしたチーク・・・毎日のメイクにひとつ投入するだけで、きっと顔も心も「イマ」になれるはず。

そして、そんなあなたには、ぜひ浜松の街を歩いて欲しい。

かつて私の親友が、「街って?すっぴんでは決して歩けない場所!」と言ったことがある。私は、1人でも多くの女性に、今一番好きな服を着て、新しい口紅をひいて、何かを求めてワクワクしながら、気合を入れて浜松の街を闊歩して欲しいのだ。

その時、街は「イマ」のあなたに、きっと新しい出会いやワクワクを運んでくれる・・・浜松の街がそんな場所になったらいいな、と願って、私は今朝も店の扉を開いている。



佐々木まり子

肴町のレディースブティック「Sun Marry」オーナー。Sun Marryは、お客様は3歳から100歳、取扱いブランドは50以上という幅広いバリエーションを持つセレクトブティック。最近では自ら企画したガールズハット「ブティマリー」を全国に向けて通販展開している。おしゃれのお手伝いで、関わるすべての女性をより素敵にして、最高の笑顔を引き出したい!と日々奮闘中。